

2023年3月31日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 小 僧 寿 し
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 森 下 將 典
(コード番号：9973 STANDARD)
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 本 部 長 毛 利 謙 久
(TEL. 03-4586-1122)

財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備に関するお知らせ

当社は、2022年12月期の内部統制報告書に開示すべき重要な不備があり、当社の財務報告に係る内部統制は有効でない旨を記載いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 開示すべき重要な不備の内容

当社グループは、過去継続して、決算・財務報告プロセスにおいて開示すべき重要を認識しております。当事業年度には、決算・財務プロセスの業務効率化を目的として、外部の公認会計士に業務改善コンサルティングを進めて頂くなど、不備の改善に取り組んでまいりましたが、第2四半期連結決算以降に、決算業務のメイン担当者が退職となりました。その後、経理部門の人員強化を目的として、2名の採用を行いました。いずれも定着に至らず、第2四半期連結決算以降において、慢性的な経理人員の不足が生じ、決算確定作業や監査対応に時間を要しました。

また、M&Aの実施による連結子会社の増加により、連結加入時の経理処理等の業務が付加される中で、当該業務が滞るなど、速やかで確実な決算事務が遂行可能な体制を構築出来ませんでした。このため、当社の決算・財務報告プロセスの不備は解消していないと考えられ、経理人員の拡充、決算事務のコントロールの面において、改善が必要であると認識し、開示すべき重要な不備に該当すると判断いたしました。

2. 事業年度末に是正できなかった理由

当事業年度の末日まで当該内部統制の不備が是正されなかった理由は、当該不備の根幹となる、第2四半期連結決算以降に生じた経理メイン担当者の退職に対する、新たな経理人員の定着化が遅滞し、当事業年度末時点においても当該問題は解決に至っていないことに起因いたします。

3. 開示すべき重要な不備の是正方針

当社グループは、財務報告に係る内部統制の整備及び運用の重要性を認識しており、今後、経理人員が不足する状況下においても、当該決算・財務報告プロセスが適正に保全されるよう、当該業務の一部をアウトソーシングするなどの対策を進め、有効な決算・財務報告プロセスを構築してまいり所存であります。

4. 連結財務諸表等に与える影響

上記開示すべき重要な不備に起因する必要な修正事項は、すべて連結財務諸表等に反映しております。

5. 財務諸表の監査報告における監査意見

無限定適正意見であります。

以上